

TSURUOKA ROTARY CLUB

国際ロータリー第2800地区

鶴岡ロータリークラブ

平成19年10月16日(火) 第2383回(本年度第15回)例会

●創立 昭和34年6月9日 ●例会日 毎週火曜日(12:30~13:30) ●例会場 東京第一ホテル鶴岡 鶴岡市錦町2-10

ROTARY SHARES
ロータリーは分かちあいの心例会に出席し
友情を深めよう

本日の卓話 (10/16)

歴代会長スピーチ

和光幼稚園園長 佐々木 勝彦君

10月7日(第2382回)例会報告

RI会長代理入場

開会点鐘	ガバナー 大友恒則
国歌斉唱	ソングリーダー 斎藤明人
ロータリーソング「奉仕の理想」	
ロータリーの綱領唱和	地区幹事 佐藤 稔
物故会員への黙祷	後藤美智子
開会宣言	地区幹事 佐藤 稔
大会実行委員長挨拶	井上 薫
歓迎のことば ホストクラブ会長	柳澤 昭
RI会長代理、来賓並びに招待者紹介	
参加クラブの紹介	
ガバナー挨拶及び現況報告	ガバナー 大友恒則
来賓祝辞 山形県知事	斎藤 弘
米沢市長	安部三十郎
祝電披露	
RI会長代理紹介	ガバナー 大友恒則
RI会長代理講和	朴柱寅
大会委員会報告並びに決議採択	
記念事業発表及び記念品贈呈	
ロータリー財団国際親善奨学生、GSE、米山奨学生、青少年交換留学生、IAC、RACの紹介及び活動報告	



次回の卓話 (10/23)

歴代会長スピーチ

御橋 義諦君

RI会長代理講話

RI会長代理 朴柱寅(韓国順天RC)

この度、私と内家がウィルフリッドJ. ウィルキンソン RI会長から2800地区の地区大会に、RI会長ご夫妻の代理として、参席してほしいとの、仰せ付けを受けまして、大変嬉しく思い、身に余る光栄の至りでございます。

ウィルフリッドJ. ウィルキンソン RI会長は2007~2008年度のテーマを“ロータリーは分かちあいの心”と発表し、思いやる気持ちがロータリーに分かちあいの心をもたらし、ニーズを知ればこそ、ロータリーは分かちあい、超我の奉仕を実践すればこそ、ロータリーに分かち合いの心が生まれると仰いました。また“ロータリーはどんなに多くの業績を挙げたとしても、新しい会員を増やし既存会員を維持し続けることができなければロータリーは生き残れない”と会員の増強と維持の重要性を特に強調されました。ロータリーはすべてを分かち合うため、強力な組織の維持と、会員間の親睦を基にして、地域住民達に、感動を与える奉仕プログラムを、積極的に開発、実行するなど、均整の取れた運営で、ロータリー第2世紀の飛躍的発展を図るべきだと思います。2800地区がウィルキンソン RI会長のテーマである“ロータリーは分かちあいの心”に基づいて“簡素な組織で豊かな奉仕”というスローガンを掲げ、識字率の向上、水の安全、保健と飢餓、ロータリー家族、会員増強を強調事項に定めた事は、プログラムの重要性を考慮し、ロータリー2世紀の願うべき方向性を提示した、高く評価される内容であると思います。ロータリー奉仕に対する均整のとれた思考と高邁な人格の持ち主である大友恒則ガバナーと井

会長

真島吉也

副会長

富樫松夫

幹事

本間昭吉

会報委員会

事務局

青柳孝治 佐々木勝彦 白幡憲一郎

鶴岡市馬場町11-63 産業会館3階

TEL:0235-28-3375 FAX:0235-28-3776

上薫実行委員長をはじめ、ホストクラブの皆様が熱意を込めて準備された地区大会に御参席のロータリアンの皆様方の親睦と交流、そして知識研修の実りある素晴らしい地区大会に成りますよう心から祈念し挨拶の言葉とさせていただきます。

ガバナー挨拶

国際ロータリー第 2800 地区ガバナー 大友 恒則

国際ロータリー第 2800 地区 2007～2008 年度地区大会に RI 会長代理朴桂寅様をお迎えし、歴史の街米沢で開催する事となりました。

RI 会長代理朴桂寅様並びに令夫人曹淳子様の御来訪を心から歓迎申し上げますと共に RI 会長代理として朴桂寅氏をご指名下さいましたウィルフレッド J. ウィルキンソン RI 会長に対し心からの感謝の意を表します。また本大会に山形県知事齋藤弘様、米沢市長安部三十郎様、米沢商工会議所会頭佐藤良吉様の出席を賜り心からの感謝の意を表します。さらに地区内・外から御参加頂きましたロータリアン各位に対しましても厚く御礼申し上げます。

2800 地区として 253 地区より分離して 17 年間、親交と友情を深めてまいりました。ロータリー綱領の基に集う 2000 有余名の皆様と年一度一同に会し、友情を交換し、理解を深め、つかの間の時間ではありますが、共に喜びを共有するこの時間を学び会い楽しみ会う一日にして頂きたいと思います。

RI 会長代理として朴桂寅様をお向かい出来る事は、かつて近くで遠い国、今は近い国として、ロータリーの世界においてもまた他分野においても相互に協力出来る関係である事に思をいたし、国際親善と世界平和への限りなき貢献を誓い合う機会となれば幸いです。

どうぞ皆さん今日の一日を楽しんで下さい。



朴代理と交換学生



懇親会

記念講演

自然のすごさに学ぶ

東北大学教授 石田秀輝先生



今日、地球温暖化が深刻さを増している。年間の平均気温が 1～2 度上昇し、2030 年にはこのままのペースで二酸化炭素が排出され続ければ、5 から 6 度気温が上昇すると言われている。

地球は大変デリケートにできている。皆さんの体と変わりない。皆さんの体温は 36.5 度で健康を維持しているが、1 度上がれば微熱状態で体調が悪くなる。これが 5 度上昇して 41.5 度になったらどうだろう。生命は危機的状況に陥る。地球もまさに同じ事がいえる。海面が上昇し、陸地が減り、森林が消えていく。世界規模で飢餓状態になる。今何とか対策を立てないと大変なことになる。

また、石油だけではなく、鉱物資源も近い将来なくなる。日本は先進国の中ではエネルギー消費量の少ない国の一である。この技術を高めて世界に貢献できるのは日本である。では、どのような技術開発ができるのか。それは、自然が教えてくれる。砂漠の蟻塚は過酷な環境の中、内部は平均気温 30 度を維持している。この原理を解明することでエネルギーを使わない快適な生活環境を作ろうと考えている。(要旨)

ご挨拶

エリック・マイヤー氏
ケリー五十嵐さん

オーストラリアのタスマニアから來ました。タスマニアはオーストラリアの南端にあり、人口は 60 万人です。小さい北海道のようです。きれいなところで、魚とりんごの産地として有名です。

昨年私の娘がオーストラリアで結婚したのですが、今回、日本でも結婚式をするということで、そのため来日しました。

今日は皆さんとお会いできて嬉しいです。

